

おおむた 市議会だより

第220号

令和3年度
2月・3月議会

令和4年(2022年)5月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※過去5年度分

右のQRコードで
スマートフォン・
タブレットでも
見れます



宅峰中学校 入学式

令和4年4月8日に、市内公立中学校の入学式が行われました。
令和4年度の新入生総数は809人です。

【主な記事】

◎新年度予算、多種多様な議論・要望／ぎかいの話題(2ページ)

◎議会から届けた皆さんの意見・要望に市長から回答がありました／ぎかいの話題(4ページ)

◎カルタックスおおむた／おおむた自慢(12ページ)

新年度予算、多種多様な議論・要望

予算特別委員会のあらまし

議員全員で構成する予算特別委員会(委員長:城後徳太郎、副委員長:山田修司)を設置し、新年度の各会計予算及び条例議案等について、3月14日から22日までの実質6日間で審査を行いました。

委員会では、新型コロナウイルス感染症対策、防災対策、庁舎整備、水洗化促進キャンペーン事業、放課後児童健全育成事業、動物園の魅力づくりに関することなど、多種多様な面から活発な議論が交わされました。

予算特別委員会における審査の結果については、委員長報告書にまとめ、3月25日の本会議において全ての予算議案及び条例議案を可決しました。

令和4年度における各会計の予算は以下のとおりで、一般会計予算の総額は599億円となりました。

令和4年度各会計予算の概要(1万円未満四捨五入)

区 分		予 算 額	対前年度当初比
一般会計		599億0,000万円	4.5%
特別会計	国民健康保険	143億3,535万円	△2.4%
	介護保険	133億5,875万円	△4.5%
	後期高齢者医療	21億2,640万円	△0.5%
	病院事業債管理	9億1,788万円	△26.1%
	水道事業	※1 42億3,720万円	3.1%
	公共下水道事業	※2 72億8,254万円	8.5%

※1 収益的支出 25億2,043万円
資本的支出 17億1,677万円

※2 収益的支出 35億3,580万円
資本的支出 37億4,674万円

正副委員長のコメント

城後徳太郎 予算特別委員長



予算特別委員会は新年度予算の審査を行う大変重要な委員会です。

審査の中では、委員から様々な発言があり、活発な議論が行われ、合

せて76件の意見・要望が述べられました。

新年度予算の審査として十分な議論を行うことができたと考えております。

また、新型コロナウイルスの感染対策を講じての開催となりましたが、全委員・市当局・議会事務局の協力もあり円滑に議事を進めることができたと考えております。

山田修司 予算特別副委員長



一般会計の予算規模で当初予算599億円、過去3番目の大型予算であります。

コロナ禍で限られた時間の中での審査

ではありましたが、二元代表制の一役を担う市議会として、全委員でしっかりと円滑に審査できました。

これからも安心して住み続けられるまちづくりを目指して取り組んでまいります。

予算特別委員会の主な意見・要望

◆避難所の開設・運営

市職員のみでは限界があるため、地域と連携しながら体制強化を図ってほしい。また、コロナ禍等における緊急的な対応についても準備してほしい。

◆庁舎整備

耐震不足の解消を急ぐ必要があり、事業を前倒ししても市民サービスに影響が及ぶほどの財政面への影響はないため、今後の検討スケジュールを短縮してほしい。



◆観光基本計画の推進

新たにコーディネーターが配置されるため、推進に当たっては、委託する業務内容等を十分検討してほしい。また、新年度事業で制作する観光ポータルサイトについても、委託内容や運営方法などを再検討し、予算を有効に活用してほしい。

◆高等教育機関等との連携

学生と議員との意見交換会においても本市のまちづくりに参加したいという意見があり、行政も若者の事業参加を望んでいるため、積極的なアプローチを図り、学術的研究支援を強化してほしい。

◆水洗化促進キャンペーン事業

生活排水対策の啓発活動の強化に加えて、浄化槽設置整備事業費補助の上乗せ補助としての浄化槽切替奨励金も新設するため、さらなる設置推進を図ってほしい。

◆ふるさと寄付金・企業版ふるさと寄付金

どちらも目標金額は常に高く保ちつつ、必要に応じて他部署との連携を強化しながら、これまで以上に事業効果を高めるように努力してほしい。

◆子ども家庭総合支援拠点事業

虐待、不登校などの様々な子供の課題に対して、スクールソーシャルワーカー配置による相談支援を合理的に進める観点から、フローチャートなどで可視化し、各関係機関が共通認識の下で取り組んでほしい。

◆放課後児童健全育成事業

安心して子育てできるまち大牟田として胸を張れるよう、待機児童ゼロに向けてしっかり取り組んでほしい。また、新1年生の待機児童の早急な解消に向けて検討・対応を急いでほしい。

◆アウトリーチ支援員の配置

複合化・複雑化した課題を抱えながらも支援が届いていない人に対して、時間をかけ信頼関係をつくりながら伴走的な支援を行う必要があるため、長期的な視野を持って業務委託するよう配慮してほしい。

◆健康づくり活動におけるウォーキング

キャンペーン時の参加者増加と保健センターの周知啓発の観点から、他部局や各種イベントと連携しながら、参加者が増加するよう鋭意取り組んでほしい。

◆事業所の可燃ごみの収集

近隣都市と比較すると1回当たりの収集量が突出していること、また、行財政改革の観点からも、収集の上限見直しを調査・検討してほしい。

◆新型コロナウイルス対策の事業者支援

新型コロナウイルス感染症の拡大から3年が経過する中で、業種によって様々な影響が出ているため、国・県の支援事業に加えて、本市の特徴に応じた支援策を講じてほしい。

◆動物園の魅力づくり

動物福祉に取り組む姿勢が評価されている一方で動物の数が減少するなど、リピーター確保の面での課題があるため、動物の特性や施設環境、教育の観点等も踏まえつつ、動物の確保に努力してほしい。



ぎかいの話題

議会から届けた皆さんの意見・要望に市長から回答がありました

前号の記事は、
こちらで見れます



前号(2月1日発行)でお知らせしておりました市長への意見・要望(議会報告会や決算特別委員会、常任委員会の議論をまとめたもの)に対して、次のとおりに市長から回答がありました。

各校区の地域コミュニティへの回答(議会報告会)

コロナ禍を乗り越えるための 地域コミュニティづくり

地域担当職員が「地域と行政のパイプ役」、「まちづくり推進のサポート役」として対応し、地域活動に対する助言やサポート、必要な人材の発掘、育成の取組も行っている。

地域コミュニティ基本指針策定から10年以上が経過し、市民との協働の在り方について、他市の事例も参考にしながら、地域コミュニティ施策に関する検証と今後の在り方を検討する。

地域組織への加入

広報おおむたによる啓発はもちろん、市外からの転入者には加入啓発チラシを配付するほか、不動産業者から地域組織への加入の働きかけや、各校区まちづくり協議会等へは校区内での住宅やアパートの建設情報を提供したりしている。

今後も粘り強く、地域と一緒に頑張って加入対策を進める。

避難所の運営

(地域への情報提供)

災害時における要配慮者の情報は、個人情報の取扱いに関する協定を締結している校区には提供している。また、避難所の鍵も、管理・運用等についての覚書を締結している校区に貸与している。

引き続き、地域の実情に精通している地域と協議しながら避難所の運営に努めていきたい。

市内の高校・高専・大学の学生への回答(議会報告会)

学生と市が連携した まちづくりの推進

高等教育機関等と意見交換し、ニーズの把握を行いながら、地域企業と高等教育機関等とのマッチングの支援や、学生・生徒がまちづくりに参加しやすい環境づくりを進めていきたい。

《学生と市が連携した近年の取組》

- フレイル予防や介護予防を目的とした「よかば〜体操」のDVD及び解説書の作成
(帝京大学福岡キャンパス)
- 小中学生を対象とした「高専ハカセ塾」や「エレクトロニクス・ものづくり体験教室」の開催
(有明工業高等専門学校)

○「炭鉱(やま)の祭典」における小中学生向けの木工体験の取組
(三池工業高校)

○事業等を自ら企画・実施・運営する「高校生まちづくり体験事業」(令和2年度から開始)で、地域の魅力を発見する小中学生を対象としたウオークイベントの実施

市民教育厚生委員会への回答

子育て世代包括支援センターへの ソーシャルワーカーの配置

令和4年度から児童家庭相談室にソーシャルワーカーを常勤で配置し、子ども家庭総合支援拠点として、複雑で多様化している子供や家庭からの相談に対応したい。

学童保育所・クラブの待機児童 解消や預かり時間の延長等

令和3年2月に策定した学童保育所・学童クラブ待機児童ゼロに向けたパッケージを推進しながら、早期の預かり時間延長の実施等に向け、事業者や関係機関等の理解を得ながら取組を進めていきたい。

都市環境経済委員会への回答

有明海沿岸道路沿線の県・市・町との広域連携

新たな観光基本計画には、広域連携の視点や取組の必要性等を基本方針に掲げ、施策・事業の中で有明海沿岸地域の魅力とその活用も検討していく。

交流人口の拡大につながる コンベンション機能の充実

令和4年1月に創設した宿泊施設立地促進補助金に、ホテルの新增設に伴いコンベンションホールを設置する事業者への補助金の上乗せ制度を設け、本市のコンベンション機能の確保や充実に努めていく。

決算特別委員会への回答

保育所等における新型コロナ ウイルス感染症対策

感染防止のための備品等の購入や、かかり増し経費に対する補助を12月議会で計上した補正予算により、保育所等への支援を行っている。

加えて、保育士の業務負担の軽減を図るためのICT化推進事業や園児の睡眠中の事故防止のための安全対策事業についても、事業者へのニーズ調査の結果を踏まえ、国の補助事業を活用し、令和4年度当初予算に必要な経費を計上する。

本会議運営のあらまし

■令和4年度大牟田市 一般会計予算などを可決

2月・3月議会

令和3年度2月・3月議会は、2月25日に開会し、3月25日までの29日間の会期で運営しました。

審議した議案等は、各会計の令和3年度補正予算等関係議案10件、令和4年度当初予算議案7件、個人情報保護条例の一部改正などの条例議案5件、固定資産評価審査委員会委員の選任等の人事案件4件、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を強く非難し、即時撤退を求める決議1件、人権擁護委員候補者の推薦の諮問1件、意見書

案等の発議8件、大牟田市土地開発公社の事業計画に関する報告等4件の計40件でした。

本会議では、令和4年度予算編成の考え方、学童保育所・クラブの待機児童解消や預かり時間延長、市庁舎整備などの諸課題に8人の議員が登壇し、市長をはじめ当局に質問しました。

また、新年度各会計予算や条例議案、報告の14件は、予算特別委員会に付託し、審査を行いました。

本会議最終日までに、意見書案の発議6件を除いた議案、発議等をそれぞれ承認、可決、同意、異議なき旨を答申して閉会しました。

議会日誌(1月～3月)

- | | | |
|------|-----|---|
| 【1月】 | 12日 | 広報広聴委員会広報部会 |
| | 24日 | 各派代表者会、議会運営委員会 |
| 【2月】 | 2日 | 各派代表者会
市民教育厚生委員会
都市環境経済委員会 |
| | 9日 | 全員協議会 |
| | 18日 | 各派代表者会、議会運営委員会 |
| | 22日 | 総務委員会、市民教育厚生委員会 |
| | 24日 | 都市環境経済委員会 |
| | 25日 | 広報広聴委員会広聴部会
本会議〔開会〕
政策等調整委員会
広報広聴委員会広報部会 |
| 【3月】 | 3日 | 各派代表者会、議会運営委員会 |
| | 4日 | 本会議〔質疑質問〕 |
| | 7日 | 本会議〔質疑質問〕 |
| | 8日 | 本会議〔質疑質問〕 |
| | 9日 | 本会議〔質疑質問〕 |
| | 10日 | 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会 |
| | 14日 | 各派代表者会、議会運営委員会、
本会議〔補正関係議案採決〕、予算特別委員会 |
| | 15日 | 予算特別委員会 |
| | 16日 | 予算特別委員会 |
| | 17日 | 予算特別委員会 |
| | 18日 | 予算特別委員会 |
| | 22日 | 予算特別委員会、請願等調整委員会、起草委員会 |
| | 23日 | 起草委員会 |
| | 25日 | 起草委員会、各派代表者会、議会運営委員会、
本会議〔新年度関係議案採決、閉会〕
広報広聴委員会広報部会 |
| | 28日 | 都市環境経済委員会 |



委員会メモ



電子入札の実施

【総務委員会】

2月22日の委員会で、令和4年度以降に公告する入札について、電子入札システムを導入する旨の説明を受けました。

令和4年度は、予定価格が3,000万円以上の土木・建築・電気・管・水道施設の一般競争入札を対象とし、令和5年度以降も対象範囲を順次拡大していく予定です。

大牟田市子ども家庭総合 支援拠点事業の実施について

【市民教育厚生委員会】

2月22日の委員会で、児童虐待事案の発生を受け、子ども家庭支援全般に係る業務を行う「子ども家庭総合支援拠点」を令和4年度までに全市町村に設置する方針を国が示していることから、児童家庭相談室の体制を強化し、「子ども家庭総合支援拠点」とする旨の説明を受けました。

今後は、関係機関との連携強化を進めながら、支援の充実が図られます。

中心市街地の活性化

【都市環境経済委員会】

2月24日の委員会で、大牟田市まちなか活性化プラン(仮題)の素案作成までの経過、素案の内容、今後のスケジュールなどの説明を受けました。

これを受け、空き家等の取扱い、計画区域の考え方等について質疑を交わしました。

ぎかいの話題

議案等名		会派等名		自民・未来クラブ										公明党議員団					民主・護憲クラブ					無所属			賛成数	審議結果
				徳永春男	江上しほり	桑原誠	境公司	島野知洋	城後徳太郎	中原誠悟	光田茂(議長)	森遼	森竜子	山口雅夫	大野哲也	塩塚敏郎	平山伸二	三宅智加子	山田修司	松尾哲也	平嶋慶二	平山光子	古庄和秀	森田義孝	北岡あや	崎山恵子		
発議第26号	農業者戸別所得補償制度の法制化を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
発議第27号	米の需給環境に対する緊急特例措置を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
発議第28号	地域公共交通維持のための財政支援の拡充を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
発議第29号	多文化共生のための社会基盤整備を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
発議第30号	敵基地攻撃能力保有の検討中止を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
発議第31号	医療・介護・福祉施設等での感染対策強化を求める意見書案	×	×	×	×	×	×	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	×	7	少数否決	
議案第81号	令和４年度大牟田市一般会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第82号	令和４年度大牟田市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第83号	令和４年度大牟田市介護保険特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第84号	令和４年度大牟田市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
議案第88号	大牟田市個人情報保護条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	
発議第32号	地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	21	多数可決	

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。一覧表については、起立した議員を○と表記し、それ以外の議員を×と表記しています。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。

下記議案等については全員賛成で承認、可決、同意、異議なし。

議案第 70 号	専決処分について（令和3年度大牟田市一般会計補正予算）
議案第 71 号	専決処分について（令和3年度大牟田市一般会計補正予算）
議案第 72 号	令和3年度大牟田市一般会計補正予算
議案第 73 号	令和3年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算
議案第 74 号	令和3年度大牟田市介護保険特別会計補正予算
議案第 75 号	令和3年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算
議案第 76 号	令和3年度大牟田市病院事業債管理特別会計補正予算
議案第 77 号	令和3年度大牟田市水道事業会計補正予算
議案第 78 号	令和3年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算
議案第 79 号	大牟田市市税条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 80 号	大牟田スタートアップセンター条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 85 号	令和4年度大牟田市病院事業債管理特別会計予算
議案第 86 号	令和4年度大牟田市水道事業会計予算
議案第 87 号	令和4年度大牟田市公共下水道事業会計予算
議案第 89 号	大牟田市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 90 号	大牟田市校区コミュニティセンター設置条例の一部を改正する条例の制定について
議案第 91 号	地方独立行政法人大牟田市立病院第4期中期計画の認可について
議案第 92 号	令和3年度大牟田市一般会計補正予算
議案第 93 号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔広島徹氏〕
議案第 94 号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔中野博氏〕
議案第 95 号	大牟田市固定資産評価審査委員会委員の選任について〔栢原誠氏〕
議案第 96 号	大牟田市教育委員会委員の任命について〔木場真帆氏〕
決議第 1 号	ロシアによるウクライナへの軍事侵攻を強く非難し、即時撤退を求める決議案
発議第 33 号	介護職員の処遇改善に関する手続の簡素化と対象職種の拡大を求める意見書案
諮問第 4 号	人権擁護委員候補者の推薦について（新村耕二氏）

インフォメーション

■次の定例会は6月です

詳細については、議会事務局(41-2800)までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口(1階)または市民生活課(2階)奥の階段からお上がりください。

インターネットでも、生中継、過去の録画(過去5年度分)を視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで6月下旬から閲覧できる会議録をご覧ください。

ホームページでも6月上旬から閲覧・検索できます。

まちづくりの進捗を見える化し、アピールを



自民・未来クラブ
森 竜子 議員

災害に強いまちづくり と治水対策事業の推進

問 排水対策基本計画を策定中だが、進捗状況と課題に対する取組について聞きたい。

答 本市の地形や河川、水路、公共下水道、ため池などに加え、市民から得た浸水状況や現地踏査等の情報を用い、コンピューター上に市内の状況を再現したモデルの構築を行っている。

具体的には、事業主体を明確にし、実施時期を短期・中期・長期に区分けして計画的に対策を推進していく。

問 手鎌野間川はＪＲや西鉄、国道などが通っていて、事業としてのハードルは高いが、河川対策は急がなければならない。新年度の取組は。

答 未整備区間には鉄道橋や国道橋などが存在するため、管理者と協議し、工事実施に向けた調査・測量等を行う。

問 大牟田川の整備計画の進捗状況と堤防機能の強化は。

答 県は新たな調節池の設置を含めた現地調査中で、令和4年度からは用地測量と川幅が狭い箇所の拡幅を行う予定。

また、老朽化が進む堤防は、4年度からの工事着手に向けた準備が進められている。

再発言 堤防機能を強化するため、老朽化対策だけで

なく、かさ上げについても県に強く要望してほしい。

問 流域治水の考えに基づく諏訪川の浸水対策の進捗は。

答 下流域である諏訪川への影響を少なくするため、熊本・福岡両県で協議を重ね、上流河川の整備内容見直しや諏訪川の河道掘削を行うと聞いている。



国土交通省HPより引用

再発言 調節池の整備や田んぼダムの検討など効果的な対策を図られたい。

円滑なワクチン接種 と地域経済への対策

問 3回目の接種や5歳から11歳を対象とした小児接種の開始に当たり、情報提供や相談体制はどうなるのか。

答 新しい情報の継続的な提供に努め、心配や不明な点は医療機関に相談してもらうなど、市民が安心して安全に接

種できるよう取り組む。

問 令和4年度は地域経済の活性化にどう取り組むのか。

答 全国発送が可能な商品の開発やプレミアム率20%の商品券発行など消費喚起を支援し、活性化に取り組む。

市庁舎整備の 今後の方向性

問 今後の方向性として、本館は庁舎ではなく民間活用で進めていくのか。また、その際のスケジュールは。

答 庁舎整備の実現可能性調査等の結果を踏まえ、民間活用を基本に検討し、令和6年度までに基本構想を策定、令和10年度の建設開始を目指す。

学童保育・クラブの 待機ゼロと時間延長

問 議会としては待機児童の解消と預かり時間の延長を平成27年度から求めている中、近隣の全ての市町では預かり時間延長に取り組んでいる。

市長は3つのまちづくりの1つに子育て世代に魅力的なまちづくりを掲げているが、この2つの問題の解決をいつまでにどうやるのか。

答 学童保育は共働きやひとり親家庭にとって大変重要な機能を果たしているため、年度当初の待機児童ゼロは私の任期中に実現させたい。

預かり時間の延長についても近隣市町と比較し、本市が実現できていないことは大きな課題であり、令和4年度中には実現への道筋をつけたい。

代表質問

人が真ん中のまちづくりを



まちなかに関わる人が広がっていくことを目指しており、人に焦点を当てた計画としている。

イノベーション創出促進事業

安心・安全で魅力的なまちづくり

問 将来にわたっての安心・安全で魅力的なまちづくりに向けた取組について聞きたい。

答 災害からの復旧・復興と災害に強いまちづくり、新型コロナウイルス感染症対策と地域経済の活性化を重点的事項として取り組み、あわせて、未来を見据えた三つのまちづくりにしっかりと取り組む。

大牟田市まちなか活性化プラン(素案)

問 大牟田市まちなか活性化プラン(素案)の策定に当たり、人口減少、少子高齢社会に対応する今回の計画の特徴について聞きたい。

答 現計画は国の認定を受けており、支援措置が活用できる一方で国のマニュアルに従う必要があった。

今回は本市独自のプランであり、20年先を見据えた長期的な計画とするとともに、構成や施策体系など、本市の実情に合わせ、大きく見直しをしている。内容に関しては、人と人のつながりを重視し、

問 イノベーション創出促進事業の拠点が9月のオープンを目指し、民間により旧商工会議所跡地で整備が進められている。令和4年度の事業の取組内容について聞きたい。

答 令和3年度に創設した優遇制度などを活用し、IT等の情報関連企業の誘致を図るほか、産学連携のサテライトオフィスの設置を進める。

問 事業の推進に当たって、女性の活用や活躍できる仕事の創出といった視点も必要だと考えるが、見解を聞きたい。

答 IT化の進展や働き方改革により、子育てや介護などで時間に制約のある方や学生、社会人の副業など、働き方が多様化している。他都市の事例も参考にしながら、女性をはじめ、様々な方が活躍できる事業を創出していきたい。

一人一人を生かし、生命を育むまちづくり

問 福岡県では、令和4年度からパートナーシップ宣誓制度がスタートする。制度への市長の見解を聞きたい。

答 市民1人1人の人権が尊重され互いに認め合い、また、

あらゆる分野で自分に合った生き方を選択し、自らの能力を発揮できる社会の実現を求められていると認識している。

制度が始まると大牟田市民もパートナーシップを県に申請し宣誓できるようになるため、県の制度にできるだけ協力していきたいと考えている。

問 健康づくり課を新設する目的と保健センターの果たす役割について聞きたい。

答 健康づくり課は、がん検診や特定健診の受診率向上などの課題解決に向け、現在複数の課で対応している市民の健康相談や健康教育、健診、介護予防などを一つに集約して業務を展開する。

また、保健センターは、1階に子ども未来室を配置し、子供に関連した事業とも十分に連携を図り、子供から高齢者までの健康づくりの拠点としての役割を担っていきたい。

問 全国各地での児童虐待事案の発生を受け、国は、子ども家庭総合支援拠点を令和4年度までに、全市町村に設置する方針を示している。本市の取組について聞きたい。

答 令和4年度から、児童家庭相談室に常勤のソーシャルワーカーを新たに配置し、拠点として支援の充実を図る。



保健センター(愛称「らふる」)

保育士・幼稚園教諭等の処遇改善



新型コロナウイルス感染症対策

問 3月6日でまん延防止等重点措置が解除されたが、その後の対策を市長から市民に呼びかけてほしいがどうか。

答 市の感染者数は厳しい状況にある。引き続きの対策を市民に呼びかけたい。

問 自宅療養者等に対する食料品や生活物資の無料配布の現状は。

答 令和3年10月1日から生活物資提供事業を開始。2月末現在で延べ160世帯、565名。

問 5歳から11歳を対象にしたワクチン接種の市の考えは。

答 市として情報収集や情報発信に努める。また、本人及び保護者が納得した上で接種の判断をお願いしたい。

再発言 保護者の不安を取り除けるよう取り組んでほしい。

問 2歳以上園児のマスク着用に対する市の考えは。

答 国からの通知により、慎重に対応し無理強いすることなく、子供の安全に十分留意する旨を保育所等に周知する。

問 市職員・教職員・消防職員が濃厚接触者となった場合

の対応は。

答 保健所等の指示に従い、特別休暇による自宅待機としている。

保育士・幼稚園教諭等の処遇改善

問 関市長の子育て支援に対する思いは。

答 安心して出産・子育てできる環境づくりが不可欠と考える。保育所等の安全対策やICT化の推進など、子育て世代に魅力的なまちづくりにしっかり取り組んでいく。



問 保育士等を対象に賃上げ効果が継続される取組を行うことを前提として、収入を3%程度引き上げるための措置が2月から9月までの間に実施されるが市の取組状況は。

答 国において保育士等処遇改善臨時特例交付金が創設され、今後、本市でも各事業所へ補助金を交付する予定。

問 10月以降は補助金ではなく、必要経費の4分の1を市が負担する予定となっているが、市の考えは。

答 処遇改善分を含む公定価格の見直しがあると聞いており、市としても努力したい。

再発言 各園の意見・要望をしっかりと聴き、保育士が働きやすい環境や、園児の安心・安全な生活環境の整備を。

地域公共交通計画

問 地域公共交通計画の目指すものは。

答 市民や来街者の利便性向上を図り、安心して移動できる地域公共交通を目指したい。

問 移動手段の確保に関する市長の決意は。

答 誰もが安心して移動できる、具体的に効果のある計画をつくっていきたい。

大牟田市観光基本計画(案)

問 令和4年度からの新たな計画案と以前の計画の違いは。

答 より地域経済の活性化に資する施策や事業を取りまとめている。また、KPIを設定し取組を進めていきたい。

大牟田市まちなか活性化プラン(仮題)

問 本市や中心市街地を取り巻く環境は年々厳しさを増すが、市の思いは。

答 新たなプランを6月に策定予定で、20年先を見据えながら中心市街地の活性化に取り組みたい。

再発言 地域公共交通計画や、観光基本計画と本計画の3つの計画は、立地適正化計画と関連性があると思う。

市民の移動や地域活性化のためにも総合的に検討を。

一般質問



公明党議員団
塩塚 敏郎 議員

子育て支援(仕事と子育てを両立できる環境の整備)

問 子育て世代包括支援センターへソーシャルワーカーの配置を要望していたが状況は。

答 令和 4 年度から児童家庭

相談室に配置し、子ども家庭総合支援拠点として、複雑で多様化する相談に対応する。

問 学童保育所・クラブの待機児童解消や預かり時間の延長にはどう対応するのか。

答 学童保育所・クラブの開所時間の延長については、令和 4 年度中に道筋を立てたい。また、待機児童ゼロについては市長任期中に実現したい。

不登校支援

問 本市の不登校支援に関す

る今後の取組は。

答 令和 4 年度は不登校の要因を明確にするための ICT を活用したアンケート調査を行う。また、未然防止の取組や学校体制の充実のため、専任のスクールソーシャルワーカーを配置する。

問 不登校や病気療養中の児童生徒に対する教育支援の取組は。

答 現在は児童生徒の状況に応じて個別対応を行っている。

再発言 コロナ禍を機にオンライン活用の検討を。



民主・護憲クラブ
平嶋 慶二 議員

民生委員の活動費の増額を

問 民生委員は、非常勤特別職の地方公務員という身分である一方、給与は支払われず活動費のみで活動している。

福岡市のように活動費の見直し及び増額を検討しては。

答 今後も、民生委員の活動状況や近隣市町村の動向等を注視していきたい。

再発言 民生委員の存在は地域福祉の要であり、時代に見合った改善を。

漫画ミュージアム(館)設立によるまちづくり

問 本市は多くのプロ漫画家を輩出している全国的にもまれなまちである。漫画ミュージアム(館)の設立を通じ、

「ドカベン」で有名な水島新司氏の出身地である新潟市のように、地域文化資源を活かしたまちづくりを目指してはどうか。また、延命中校舎跡地を活用すれば、動物園、絵本、漫画館が集積され、この地域における相乗効果は絶大だと思うが。

答 市が新たな施設を造るには様々な課題があるが、民間において設立の動きがあればできる限り支援し、また、今後も漫画を活かしたまちづくりを進めていきたい。



公明党議員団
大野 哲也 議員

高齢者施策の推進を強力に進めよ

問 介護サービス事業者協議会と本市との協働の歴史に対する市長の見解は。

答 今後も、協議会をはじめ

関係機関や地域と協働しながら、これまで積み上げてきた取組をさらに進め、地域社会において誰もが人として尊重され、安心して暮らせるまちづくりを推進していきたい。

問 本市の認知症施策に対する担当副市長の認識は。

答 本市の認知症に関する先進的な取組は、今後も継続して実施しながら充実させていく必要があると考えている。

問 副市長には認知症施策に携わる人の声を聞いてほしいと思うが、副市長の考えは。

答 1 人 1 人の思いや願いに耳を傾けたいと考えている。

問 認知症の人とともに暮らすまちづくり宣言を市長はどう受け止めているか。

答 認知症の人とその家族を地域全体で支え、市民が認知症を超えて安心して豊かに暮らし続けることができるまちづくりを進める必要性は全く変わっていないと認識している。宣言に込められた思いを受け継ぎ、今後も認知症の人と暮らすまちづくりをしっかりと推進していきたい。

一般質問



不登校児童生徒への支援の充実

問 大きな課題である本市の不登校児童生徒の実態をどのように捉えているか。また、その解消に向けた教育委員会

の基本的な考え方は。

答 本市の不登校出現率は福岡県の出現率より高く、教育委員会としても重要な課題と認識している。不登校の解消に向け、授業や行事の工夫・改善を通して、魅力ある学校づくりを進めている。対応が長期化する不登校児童生徒には、小中学校と連携し、継続的支援に取り組んでいる。

問 令和4年度の重点事業に、スクールソーシャルワーカー活用事業が挙げられているが、その人員体制と取組内容は、

答 令和4年度からスクールソーシャルワーカーを1名増員し、5名体制で対応する。

今後の不登校への対応は、要因の分析や未然防止の取組、相談体制の充実が重要であるため、推進校を指定し、専任のスクールソーシャルワーカーを配置する予定。

問 同事業の今後の展開は。

答 全中学校区に小中一貫教育を導入する令和9年度までに、スクールソーシャルワーカーを各中学校区に専任で1名配置する予定。



コロナ感染拡大下における市の対応

問 介護事業所等での新型コロナウイルスのクラスター発生に対して、市の対応は。

答 感染状況の把握に努め、

事業所に対して市が備蓄する衛生用品を届けるなど、できる限りの支援を行った。

また、国や県が実施している補助事業・支援事業の再周知など支援を行っていく。

再発言 現場は、対応に追われており、様々な支援制度の活用は困難である。市には制度・事業の周知とともに、それが確実に活用できるまで「つなぐ」支援を求めたい。

高すぎる国民健康保険税の引下げを

問 国保税が払えない、そのため病院に行けないなど、国保税が高すぎるという声があり、滞納者も増えている。国保税の引下げを検討しては。

答 本市の滞納がある世帯は、9.6%である。今後、国保の被保険者数は減少する一方で、被保険者の高齢化、医療の高度化などで、医療給付費は増加傾向にあり、令和5年度以降は、単年度収支の赤字が見込まれ、引下げは難しい。国に国庫負担の充実等を、市長会などを通じ要望したい。

アクションプログラム(改訂案)などで全員協議会を開催

2月9日に、全員協議会を開きました。

全員協議会とは、市政全般に関わる政策等についての協議を行うため、開かれる会議です。

①大牟田市第6次総合計画アクションプログラム(改訂案)について、②庁舎整備の今後の方向性について、③将来の公債費の試算について説明を受け、議論を交わしました。

アクションプログラムに関しては、新規事業や拡充事業のほか、学童保育所・クラブの運営など既存の事業に関する質疑質問が行われました。

庁舎整備の今後の方向性に関しては、「これまで様々な検討をしているが、市民には分かりづらい資料もあるため、説明は分かりやすいように配慮してほしい」などの意見・要望がありました。

スマートフォン、タブレットでも議会中継が視聴できます。

大牟田市議会では、本会議及び予算・決算特別委員会の生中継と録画中継をインターネット配信しています。

パソコンによる視聴だけでなく、スマートフォンやタブレットパソコンからも視聴できます。

どうぞご利用ください。



おおむた自慢

カルタ発祥の地・大牟田市ならではの複合施設 カルタックスおおむた

カルタックスおおむたは、「大牟田市立図書館」と「大牟田市立三池カルタ・歴史資料館」との複合施設で、正式名称は「大牟田市三池カルタ・歴史資料館等複合施設」です。

カルタックスおおむたという愛称は、公募によって決まったもので、カルタとブックス（本）を合わせた造語です。1991年4月に開館し、昨年2021年4月に30周年を迎えました。

カルタ館では、年に4回の企画展のほか、講座やイベントなども開催しています。

三池カルタ・歴史資料館



(左) 一步館内へ足を踏み入れるとカルタの起源とされるポルトガルの船上でのカルタ遊びの様子が復元されたジオラマを観ることができます。

春の企画展



4月5日から始まりました！

(上) 私たちが一番よく知る「いろはかるた」から、世界のカルタ、日本のご当地カルタまで、珍しいものが幅広く展示されていて、大牟田の歴史を学べる展示もあります。



梶原館長

当館は全国で作られた郷土カルタ、いわゆるご当地カルタの収集に力を入れていて、今回、収集した作品の中から選りすぐりの30点を展示しています。

ぜひたくさんの方にご来館いただき、郷土カルタの魅力を知ってもらえたらと思います。

開館時間 10:00～17:00

休館日 毎週月曜・毎月最終木曜日
(祝日および振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)
※臨時休館はHP等で都度告知

入館料 無料(受付でチェックシート記入)
TEL 0944-53-8780 / **FAX** 0944-53-8781

公式ホームページ



Twitter



大牟田市立図書館



(写真上) 読みたい本は、館内の検索機を使って探せます。ジャーフが案内してくれますよ。



本の入荷状況や、おはなし会など図書館で開催されるイベントの最新情報は、SNSでチェックできます！

館内は、3月のリニューアルで児童書コーナーのフロアカーペットが全面張り替えられました。昨年は本の除菌機(写真下)も導入され、皆様が安心して心地よく本を楽しめる空間になっています。



大牟田にゆかりのある漫画家の作品(写真左)や、大牟田市出身の絵本作家・内田麟太郎先生のコーナー(写真下)もあります。



開館時間 火～金曜 9:30～20:00
土日祝日 9:30～18:00

休館日 毎週月曜・毎月最終木曜日
(祝日および振替休日の場合はその翌日)
年末年始(12月29日～1月3日)
年度末整理期間(3月の10日間以内)

TEL 0944-55-4504 / **FAX** 0944-43-1167

公式ホームページ



Twitter



Facebook



編集後記

新型コロナウイルスが世界的に猛威を振るい始めて2年が経過し、日本でも国・県・市が連携して対策を行い、ワクチン接種も進んでいる状況です。国では飲み薬の開発が進んできている段階ではありますが、まだまだ感染しないように注意が必要です。

市議会も市民の安心安全を願い、引き続き努力してまいります。(S H)

編集 広報広聴委員会広報部会

【委員長】徳永春男 【副委員長】平嶋慶二

【委員】境公司 塩塚敏郎 平山伸二 山田貴正

発行 大牟田市議会

〒836-8666 福岡県大牟田市有明町2丁目3番地

TEL 0944-41-2800 FAX 0944-41-2880

E-mail e-gikaijimu01@city.omuta.fukuoka.jp

印刷 株式会社江崎印刷所